

# 競技注意事項

19

1. 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに申し合わせ事項により実施する。
2. 競技者の招集方法について  
(イ) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、すべて競技の開始時刻を基準とし、下記要領で行う。

	招集開始時刻	招集終了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始50分前	競技開始30分前

- (ロ) 他の種目に出場しているなど特別な事情がある場合に限り、代理人による招集を認める。  
(ハ) 招集時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理する。
3. 不正スタート1回失格について（九州実業団陸上競技選手権大会のみ）  
(イ) この大会は「不正スタート1回で失格」を適用する。  
(ロ) スタート動作において「不適切な行為」として、同じ競技者が2回目の警告を受けた場合には、1回の不正スタートを行ったものとして失格とする。
  4. ナンバーカードについて（九州実業団陸上競技選手権大会のみ）  
(イ) ナンバーカードは1人につき2枚を配付する。（トラック競技出場者には、腰ナンバーカード1枚を招集所で配付。尚、レース終了後に返却すること。）  
(ロ) すべての競技者はユニフォームの胸、背部に配付された大きさのままつける。ただし、走幅跳、三段跳、走高跳、棒高跳の競技者は、その種目に限って胸、背のいずれかを除いてもよい。
  5. 走路順、試技順について  
(イ) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技試技順は、プログラム記載の順とする。  
(ロ) トラック競技決勝のレーン順は、公平に抽選をして、主催者において決める。  
(ハ) トラック競技で棄権者があるときは、そのレーンをあける。  
(ニ) 短距離競走のフィニッシュ後は、他の競技者との接触を避けるため、そのまま自分のレーン内を走る。
  6. 競技用器具について  
(イ) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用すること。但し、競技者が持ち込んだ棒高跳用ボール、投てき用具を使用する場合は、検査を受けて合格したものを備え付け用器具として使用できる。  
(ロ) フィールド競技助走路に使用するマーカーは主催者が用意する。  
(ハ) 中学四種競技の砲丸の重さは次の通りとする。  
男子 4.000kg      女子 2.721kg
  7. リレーのオーダー用紙は、その種目の競技開始60分前までに競技者係までに提出する。  
4×400mリレーに出場するチームで、スターティングブロックを使用しないチームは、公式記録が認められないため、記録は参考記録として扱う。（失格扱い）
  8. スパイクの数は11本以内で、長さ9mm、走高跳とやり投では12mmを超えてはならない。
  9. 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。  
走高跳    男子      1m70(練習) 1m80-1m85-1m90-1m95-2m00-2m05-2m10-2m15-2m20-  
              女子      1m50(練習) 1m55-1m60-1m65-1m70-1m73-1m75-1m78-1m80-1m83-  
              中学男子四種 1m30(練習) 1m35-1m40-1m45-1m50-1m55-1m58-1m61～以後3cm  
              中学女子四種 1m10(練習) 1m15-1m20-1m25-1m30-1m35-1m38-1m41～以後3cm  
棒高跳    男子      3m60(練習) 3m80-4m00-4m20-4m40-4m50-4m60-4m70-4m80-4m90-  
              女子      3m00(練習) 3m05-3m10-3m15-3m20-3m25-3m30-3m40-3m50-3m60-  
              中学男子    2m00(練習) 2m20-2m30-2m40-2m50-2m60～以後5cm
- ※ 練習及び試技の高さは、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、審判長の判断により変更する場合もある。
10. 長距離種目は、次の時間で競技を打ち切る。  
中学男子 3000m 12分30秒      中学女子 1500m 6分30秒
  11. 九州実業団陸上競技選手権大会の各種の優勝者及び2位、3位までの入賞者は、競技終了後直ちに表彰を本部前で行うので、表彰係の指示により行動する。
  12. 参加者の競技中の発病・負傷に関しては、主催者は応急処置以外の責任は負わない。
  13. 競技者以外の者は、トラック及びフィールド内への立ち入りを禁止する。
  14. 競技終了後の退場については、係員の指示による。
  15. 更衣は、管理棟内の男女別更衣室を使用すること。貴重品は各自で保管すること。
  16. スパイクシューズを履いたまま、管理棟内を歩かないこと。
  17. フィニッシュしたのちスタート地点等へ戻る場合は、本部棟裏のスタンド通路を通ること。